

化学療法指示書 (ビダーザ点滴静注)

1クール28日 骨髄異形成症候群

第 () クール

I D		外来・入院(号)
氏 名		性別
生年 月日	年 月 日 (歳)	

主治医		CCr	ml/min
身長	cm	腎機能	正常/異常
体重	kg	肝機能	正常/異常
体表面積	m ²		

※通常、成人にはアザシチジンとして 75mg/m²(体表面積)
ビダーザ投与量(75mg/m²) = ()mg

27	中心静脈注射	98	無菌(悪性腫瘍剤)	サイン
39	埋込型カテーテル中心静脈	33	外来化学療法加算	Pr Dr N s 医事

年 月 日 day1に処方(day1~7服用) 外来時は、処置で対応
内服処方 カイトリル 1mg 2T 1×(7) 投与30分前 **処方箋にて入力**

年 月 日 (day 1)					
[:]	ボトル①		①		
	ビダーザ注射用 100mg () 瓶		10分		
	注射用水 20mL 1本 (1Vあたり10mLで溶解)				
	生理食塩水 50mL 1本				
[:]	ボトル②		②		
	生食 50mL		全開		
年 月 日 (day 2)					
[:]	ボトル①		①		
	ビダーザ注射用 100mg () 瓶		10分		
	注射用水 20mL 1本 (1Vあたり10mLで溶解)				
	生理食塩水 50mL 1本				
[:]	ボトル②		②		
	生食 50mL		全開		
年 月 日 (day 3)					
[:]	ボトル①		①		
	ビダーザ注射用 100mg () 瓶		10分		
	注射用水 20mL 1本 (1Vあたり10mLで溶解)				
	生理食塩水 50mL 1本				
[:]	ボトル②		②		
	生食 50mL		全開		
年 月 日 (day 4)					
[:]	ボトル①		①		
	ビダーザ注射用 100mg () 瓶		10分		
	注射用水 20mL 1本 (1Vあたり10mLで溶解)				
	生理食塩水 50mL 1本				
[:]	ボトル②		②		
	生食 50mL		全開		
年 月 日 (day 5)					
[:]	ボトル①		①		
	ビダーザ注射用 100mg () 瓶		10分		
	注射用水 20mL 1本 (1Vあたり10mLで溶解)				
	生理食塩水 50mL 1本				
[:]	ボトル②		②		
	生食 50mL		全開		
年 月 日 (day 6)					
[:]	ボトル①		①		
	ビダーザ注射用 100mg () 瓶		10分		
	注射用水 20mL 1本 (1Vあたり10mLで溶解)				
	生理食塩水 50mL 1本				
[:]	ボトル②		②		
	生食 50mL		全開		
年 月 日 (day 7)					
[:]	ボトル①		①		
	ビダーザ注射用 100mg () 瓶		10分		
	注射用水 20mL 1本 (1Vあたり10mLで溶解)				
	生理食塩水 50mL 1本				
[:]	ボトル②		②		
	生食 50mL		全開		
年 月 日 (day 8~28) 休薬					

※調製から1時間以内に投与を終了させること(安定性低下) ※溶解方法は裏面参照

	検査データ	バイタル	副作用チェック	看護記録
月 日 (day1)		前 中 後	寒気 発熱 痒み 吐き気 血圧変動 倦怠感	サイン
月 日 (day2)		前 中 後	寒気 発熱 痒み 吐き気 血圧変動 倦怠感	サイン
月 日 (day3)		前 中 後	寒気 発熱 痒み 吐き気 血圧変動 倦怠感	サイン
月 日 (day4)		前 中 後	寒気 発熱 痒み 吐き気 血圧変動 倦怠感	サイン
月 日 (day5)		前 中 後	寒気 発熱 痒み 吐き気 血圧変動 倦怠感	サイン
月 日 (day6)		前 中 後	寒気 発熱 痒み 吐き気 血圧変動 倦怠感	サイン
月 日 (day7)		前 中 後	寒気 発熱 痒み 吐き気 血圧変動 倦怠感	サイン

休薬・減量基準（詳細はビダーザ注射用100mg適正使用ガイドを参照すること）

○グレード3以上の非血液毒性

○当該サイクルの最低値が好中球数 $<1000/mm^3$ または血小板数 $<50000/mm^3$

○治療開始前値が白血球数 $<3000/mm^3$ 、好中球数 $<1500/mm^3$ または血小板数 $<75000/mm^3$

○白血球数、好中球数または血小板数のいずれかが治療開始前値の50%以下に減少

○血清重炭酸塩 $<20mEq/L$

○BUNまたは血清クレアチニンが施設基準値上限を超えかつ治療開始前値の2倍以上になった場合

* 投与量に関して、日本新薬ホームページ ビダーザ投与量自動判定ツールを参考にすること

主な副作用 ※適正使用ガイド参照

○骨髄抑制(好中球減少、血小板減少、貧血)

○感染症

○出血

○低血圧

○肺障害

○心機能障害

○アナフィラキシー様症状

○肝機能障害

○腎機能障害

調整および投与時の注意事項

○1バイアルにつき注射用水10mLを注入し、バイアルを激しく振り混ぜて完全に溶解する。

○溶解液の必要量を生理食塩液50mLに混合する。